

結核ってどういう病気？



結核とは、結核菌が体の中に入り増えることによって主に肺に炎症を起こす病気です。結核患者の咳やくしゃみで結核菌が飛び散り、周りの人がそれを直接吸い込むことで感染します。



“結核”昔の病気だと思いませんか？

結核は今でも毎年全国で約1万人が発病し、約1,600人が亡くなるという重大な病気です。
長野市では65歳以上の患者が約7割を占めていますが、近年20代～40代の若い世代が発病する事例も発生しています。

感染してもすぐに発病しません

結核に感染した人の約9割は、免疫力のおかげですぐには発病しません。しかし、感染してから数十年経過した後、加齢や病気などが原因で免疫力が落ちたときに発病することがあります。

症状は風邪にそっくり

結核の初期症状は、咳（特に乾いた咳）、たん、



微熱、だるさ、食欲不振、体重減少などで風邪とよく似ています。

咳が2週間以上続くなどの気になる症状があるときは、速やかに医療機関を受診してください。

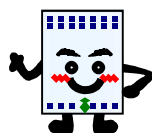


年に1回は結核健康診断（職場健診・人間ドック）を受けましょう

事業者は定期的結核健康診断（胸部エックス線検査）を行うことが法律によって定められています。

もし、異常を指摘されたら、必ず専門の医療機関で精密検査を受けましょう。

結核は抗結核薬など効果の高い治療薬があり、早期発見・早期治療で治る病気です



長野市保健所健康課
電話 226-9961
FAX 226-9982